

看護いばらき



社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association

No. 94
2011年8月10日



CONTENTS

- 平成23年度通常総会報告…………… P2
- 地区活動…………… P8～9
- 平成23年度職能集会報告…………… P3
- 第47回いばらき看護の祭典…………… P10～ P11
- 新役員紹介…………… P4～5
- 協会からのお知らせ…………… P12
- 常任・特別委員会活動…………… P6～7

平成23年度通常総会報告

スローガン “変革のとき ひとりの力を組織の力に”

6月19日（日）、水戸プラザホテルにおいて、「平成23年度通常総会」が開催されました。

去る3月11日の東日本大震災で亡くなられた方々と2名の物故会員へ黙とうを捧げました。

開会式では、会長のあいさつに引き続き、来賓の茨城県保健福祉部医療対策課長・近藤慶一様、茨城県病院協会理事・事務局長・片野壽洋様より祝辞を賜り祝電披露の後、当看護協会活動にご尽力頂いた25名の会員の方々に茨城県看護協会長より表彰状が授与されました。

通常総会は、出席会員9,585（委任状9,130含む）名参加のもと、9時30分に開会し、議長団として、茨城県ひたちなか保健所・山口文子氏、総合守谷第一病院・中島博子氏、茨城県立中央病院・角田直枝氏の3氏が選任されました。議事録署名人に議長団から角田直枝氏、会員から水戸赤十字病院・藤田けい子氏、㈱日立製作所日立総合病院・芳賀百合子氏、茨城県保健福祉部保健予防課・大高恵美子氏の4氏が承認されました。引き続き執行部より議案の説明や報告が行われ、質疑・答弁の後、提出された12議案すべてが原案どおり可決承認され、盛会のうちに終わることができました。

東日本大震災は、茨城県内いたる所に爪痕を残し、復興に向けて様々な対策が行われております。看護職の活動は被災された方々の命を守り、安心と希望につながっています。当協会も、より公益性を重視した事業を推進し、社会に貢献する看護職として期待に応えられるよう努力をしたいと思っております。

会員の皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

提出議案

- 第一号議案 平成22年度事業報告(案)
- 第二号議案 平成22年度決算報告並びに監査報告(案)
- 第三号議案 茨城県看護協会の新たな基本理念について(案)
- 第四号議案 茨城県看護協会の新定款(案)並びに新定款細則(案)
- 第五号議案 茨城県看護研修センターの拡張整備について(案)
- 第六号議案 平成23年度スローガン(案)
- 第七号議案 平成23年度重点事業並びに事業計画(案)
- 第八号議案 平成23年度予算(案)
- 第九号議案 公益社団法人移行後の理事の報酬等の総額の上限(案)
- 第十号議案 公益社団法人移行後の監事の報酬等の総額の上限(案)
- 第十一号議案 平成23年度役員・職能委員並びに推薦委員の選任
- 第十二号議案 平成24年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任



議案審議



議長団の選任



会場の様子



シンボルマーク発表
感謝状贈呈

平成23年度優良看護職員茨城県看護協会会長表彰

受賞おめでとうございます

今年度は、保健師5名、助産師2名、看護師16名、准看護師2名の方々が受賞されました。



記念撮影



お礼のことば

職能集会報告

保健師職能集会

～ネットワークの輪を広げて、活動の輪を広げよう～ 前保健師職能委員長 森田正子

平成23年度の委員会活動として、保健師の人材育成強化を図るための課題検討、連携強化・ネットワークの推進を図ることを目標としました。

集会では、3月11日の東日本大震災時に保健師はどのように地域活動をしたかをテーマに開催しました。津波と地震の被害を受けた市から「神栖市における震災での保健師活動」として向山和枝保健師から報告をしていただき、緊急時に何を優先し活動すべきか、組織としての活動のあり方等について考える機会となりました。

助産師職能集会

～自律した助産師を目指して～ 助産師職能委員長 榎谷厚子

昨年度から継続目標である「院内助産システムの普及に向けた支援」の取り組みを報告しました。その一環として自律した助産師を目指し、スキルアップ研修会を企画しました。助産師の原点に戻り、妊産婦の心身の健康を守る役割と知識技術の再学習をしました。あらためて「手や五感」を通したケアの大切さに気づくことができました。23年度こそは「院内助産システム」を取り入れるための支援策を見出せるよう取り組んでいきます。

看護師職能集会

～看護師職能集会を開催して～ 看護師職能委員長 江幡恵子

社会の急速な変化に伴い看護に対するニーズも多様化し、看護職の働く場はいまや病院にとどまらず介護、福祉、在宅の場と大きな広がりを見せています。本年度は日本看護協会の方針も踏まえ、病院で厳しい交代制勤務を行っている看護職の現状調査と、介護施設で働く看護職の現状把握を行うことを報告させていただきました。介護施設で働く会員から、心強い賛成の意見をいただきました。

また今年の3月に起きた東日本大震災では、茨城県においても多くの方々が被災されました。

今回、被災した病院看護職の立場から被災時の対応と課題について発表していただきました。いつ襲ってくるかわからない災害にそなえる上で、示唆に富んだ内容でした。

新役員紹介

平成23年度 理事12名が選任されました。
新任・再任された方々をご紹介します。

会 長 村 田 昌 子 (再任)



新たな公益社団法人に向けて

今、看護は、教育から、現場から、行政等から仕組みが大きく変わろうとしています。県民誰もが、住み慣れた地域で、健康で安心してその人らしく暮らすことができるような社会を目指して、皆さんと一緒に汗を流したいと考えています。ご支援よろしくお願いたします。

第二副会長 宮 本 康 子 (再任)



新たな社団法人への移行の年

新たな社団法人への組織改革に向けて移行手続きを行う年、県民にとってもなくてはならない職能団体となるよう、会員一人ひとりの声を反映させる看護協会の組織体制整備に尽力いたします。

常任理事 青 山 千 代 子 (再任)



会員の皆様とともに組織の発展を

公益社団法人への移行と看護研修センター拡張という大きな変革期に2期目の常任理事を務めさせていただきます。主に教育研修事業担当ですが、魅力ある職場づくり、訪問看護サービス提供体制の推進など重点事業の円滑な運営に努力し、会員の皆様とともに組織強化を図りたいと思います。よろしくお願いたします。

保健師職能委員長 高 野 千 代 (新任)



さらなる専門性の発揮、実践力向上を目指し

現在保健師が対応している健康課題は生活習慣病予防、メンタルヘルス対応、虐待対応等、複雑困難化しています。このような状況の中、さらなる保健師の専門性の発揮、実践力向上をめざし皆様とともに活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。

土浦地区理事 野 口 美 恵 子 (再任)



「地域の連携を深めよう」

地区活動を通して協会員のみならず広く看護職と連携を取り合い、地域住民の皆様の健康増進や疾病予防に寄与できるよう取り組んでまいります。よろしくお願致します。

つくば・常総地区理事 白川 洋子(再任)



「出発」

「新たな公益社団法人」に向けて出発しました。今まで以上に県民からの温かな支援と厳しい声に耳を傾けながら、「どうあればより良いか」を常に問いながら、理事としての役割を遂行していきます。また、地区理事相互の交流を図り協会の発展に寄与します。

筑西・古河地区理事 野口 敬子(再任)



地区全体の活性化を主体に

看護職として地域住民から信頼を得られるよう保健活動の充実を目指したい。また、施設代表者間の連携を深め、協力関係を構築したいと考える。

さらに、地区の詳細な現状を把握し、問題の解決におけた取り組みを行うことで地区の活性化を図り、パワーのある地区としたい。

理事 九内 久美子(新任)



地域と連携し頼られる看護を目指して

3月11日の東日本大震災では想像もしない自然災害の怖さを体験し、今まで以上に地域医療との繋がりの大切さを感じました。今後も地域の人たちの期待に応えられる看護を提供していくために、看護のレベルアップや環境改善に目を向けて微力ではありますが努めて行きたいと思っております。よろしくお願ひします。

理事 高野 洋子(再任)



一看護協会の発展に一

この度、新しい組織になるまでの期間、新役員として就任しました。公益法人になる組織作りの大切な時期に看護協会が職業組織としてどのように発展していくのかを見守りたいと思ひます。

理事 相川 三保子(再任)



公益社団法人移行の大切な1年

新たな使命を持って歩み出す大切な助走の時に理事として、看護師として一つひとつの課題に丁寧にかかわって行きたいと思ひます。また、一人ひとりの声を看護協会に繋げられるよう役割を果たしてまいります。

准看護師理事 永野 正子(再任)



看護職が働き続けられる環境づくり

医療療養型病棟の25対1の施設基準において、認知症患者など、医療区分が低いわりには危険行動が多く、観察などに時間が取られる現状がある。

ケアを必要としている患者に思うようなケアが提供できない現状があります。

このような現場の状況の中、頑張っている看護職の叫びを行政に取り上げて貰える様、皆様と共に頑張りたいと考えています。

監事 吉田 公代(再任)



看護協会のますますの発展の為に

監事として臨床現場においての向上の為に「魅力ある看護協会」を頭におきながら監査に臨んでまいります。よい良い監査が出来る様、学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



平成23年度 常任・特別委員会活動

6月23日に委員会説明会が開催されました。各委員会で委員長・副委員長が互選で選出され、今年度の活動について話し合われました。常任委員会・特別委員会の委員長と活動内容をお知らせいたします。

社会経済福祉委員会

委員長 鈴木 美恵子



「看護職のワーク・ライフ・バランス推進をめざして」

中小規模の医療機関に勤務する看護職の離職防止・定着促進、WLB 推進に向け、看護職が働き続けられる労働条件・労働環境の改善に取り組み、成功している医療機関へインタビューを実施します。その結果を踏まえて WLB を推進するための情報提供を行っていきます。

教育委員会

委員長 橋本 順子



「看護の質の向上と専門職のキャリア形成を目指して」

新人研修、ブラッシュアップ研修、看護研究のうち56研修を企画しました。参加者からの声を大切に、ニーズに合った研修、現場で活かせる研修を目指しております。キャリア形成にも役立ててください。皆様の参加をお待ちしております。

業務委員会

委員長 吉成 有香



「特定看護師（仮称）を考える」～看護師の意識と業務の実態調査～

厚生労働省では昨年よりチーム医療推進のための看護業務が検討されており、特定看護師（仮称）の業務試行事業が開始されました。今年度の業務委員会は、県内の看護師が特定看護師（仮称）に関してどのように感じ、実際の看護業務をどの範囲まで行っているのか実態調査を行います。

広報委員会

委員長 菊池 洋子



「会員の皆様に役立つ情報の提供をめざして」

今年度はより一層現地取材に力を入れ、県内で行われる研修・各活動になるべく足を運び、会員の皆様の声を反映した記事の提供をしていきたいと思っております。また、他にも興味のある話題の提供・見やすい紙面づくりをめざし、皆様にご愛読される「看護いばらき」となるよう努力していきます。

学会委員会**委員長 松澤 明美****「2011年度 学会委員会」**

今年度の茨城県看護研究学会は、2011年12月10日(土)、つくば国際会議場において、第15回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会との合同にて開催される予定です。会員のみなさまの多数のご参加を心からお待ちしております。

準備委員会**委員長 青木 建二****「円滑な研修を支えて」**

受講生の方々が充実した研修を受けることが出来るよう、看護協会、教育委員の協力のもと会場準備を行っております。2期目を迎えましたが受講生の皆様の協力もあり滞りなく進めることができています。今後研修等で不備、気になることなどありましたら声をかけてください。

推薦委員会**委員長 林 尻 珠 美****「推薦委員の活動目標到達を目指して」**

推薦委員は、6人で構成され、年6回の委員会開催を予定しています。役員、職能委員および推薦委員の候補者の推薦、日本看護協会通常総会代議員および予備代議員の候補者の推薦をすることを任務としています。活動目標は、看護協会の活動を理解し、その任務を遂行できる人材を推薦することです。活動目標に向かって、全員で努力していきます。

介護保険・地域訪問看護推進委員会**委員長 中島 由美子****「訪問看護の飛躍を目指して」**

現在、茨城県には97箇所の訪問看護ステーションがあります。ゆっくりではありませんが少しずつ増えています。しかし、未だステーションが無い市町村も存在します。当委員会は、ニーズがある限り全ての在宅療養者に対して訪問看護が提供出来るよう支援していきます。ご協力よろしくお願い致します。

医療看護安全対策委員会**委員長 疋田 富美江****「より良い療養環境と作業環境の定着を目指して」**

医療安全文化の定着に向けて、各施設で様々な取り組みをしていることと存じます。今年度は、各地域の横のつながりをさらに深め、県内の医療安全の質の向上に努めて参ります。

災害看護検討委員会**委員長 古宮 信雄****「災害看護マニュアルを看護協会サイトに掲載します」**

東日本大震災を教訓に災害看護マニュアルを見直し、多くの看護師に災害看護の知識を広げるため、茨城県看護協会サイト内にマニュアルを早急に掲載する予定です。また災害支援ナース登録のための研修を経験豊富な講師にて毎年実施しております。ぜひ参加してください。がんばろう！日本。



水戸・ひたちなか地区

地区理事 原田 良子

「地区の活動の充実」

今年度の目標は「まちの保健室を通して地域住民の健康な生活を支援する」「地区研修を充実させ会員の交流を図るとともに会員増加に努める」の2点を挙げました。震災の影響がまだ残っている地域の人々に、他職種の方達と連携しながら健康な生活を支援していきたいと思えます。会員同士の交流の場として、地区懇談会や研修を充実させ会員の増加と、質向上に努めたいと思っています。

日立・常陸大宮地区

地区理事 金子 美智子

「まちの保健室は多職種と共に」

今年度の「常設まちの保健室」は、看護協会担当保健師と施設の看護師がペアとなり、お互いの能力を発揮して、さらに充実した健康相談の対応を目指して参ります。また、月毎のテーマに合わせて多くの医療職に協力を依頼し、地域の皆さまを支援していきたいと思えます。さらに、市民行事にも他職種と共に参画し「まちの保健室」での活動を通して、市民の方々との交流を深めながら、自分たちの役割を見つめていきたいと思えます。来年度から日立・常陸大宮地区は分かれて活動することになりますが、これまで培ってきた会員同士の結束力を大いに発揮し、お互いが発展できるように精力的な活動を実践してまいります。

鉾田・潮来地区

地区理事 後藤 みよ

「地域住民への質の高いサービス提供を目指して」

今年度の活動目標は、1) 専門職としての資質向上を図り、地域のニーズに対応した保健活動を推進する。2) 施設間・関係団体との連携を深め、組織の強化を図るとしました。

今年度より日本看護協会が公益法人化され茨城県も準備を進めておりますが、地区においても「まちの保健室」を常設し、月1回の保健指導を施設が輪番制で行うことで、地域住民の方が健康で安心して暮らせる環境づくりに貢献できればと計画しました。

研修会では、「終末期の患者・家族の支援」と「認知症の方への看護と家族支援」を計画しており、会員・非会員を問わず多くの看護職が参加することで資質向上を図り、患者さま・家族へより具体的で適切な支援ができることを期待しております。

また、未加入施設や関連の福祉施設等へ働きかけることで会員増加と組織強化を図り、現場の課題解決や専門職として資質向上を図ることで、地域のニーズに対応した質の高いサービス提供に繋げられればと考えています。





竜ヶ崎地区

地区理事 佐瀬 悦子

常設している「まちの保健室」の 活性化を考える

まちの保健室を通して地域住民のニーズを理解し目標を共有し、保健活動を行う事が大切と考える。

そのためには、今までの保健室のあり方を今再度評価し訪れた地域の人々の問題の解決状況や満足度を知り担当者間で話し合いを持ち、保健室のあり方を考え、又関係者とのような協働活動を行い連携していくか等検討し実施していきたい。

誰もが必要なサービスが円滑に受けられる様しくみづくりに協力したいと考えています。

土浦地区

地区理事 野口 美恵子

「地域で取り組む看護職の輪」

今年の目標は、①地域のニーズに対応し、地域住民・看護職が互いに実感できる活動を目指す②地域の会員相互の役割分担と連携強化（医療と福祉、病院や市施設や訪問看護St）③地域でワークライフバランスに取り組む看護の輪（情報交換）の強化です。土浦地区で活躍する協会の職場紹介や実情・働き続けられる環境や多様な労働形態への取り組みなど情報交換を行い、地域の看護職が happy な気持ちで働き続けられるように皆で知恵を出し合い取り組んでいきます。地区の皆さん、積極的な参加をお願い致します。

つくば地区

地区理事 白川 洋子

「市民とともにある地区活動」

つくば・常総地区の本年度の活動目標は、①地区会員相互の交流を図り、専門職集団としての課題を共有する。②地域市民の健康維持、増進を図る。としました。①に関しては、看護職の労働問題、キャリア支援と離職防止、医療・福祉に関する課題を共有し、合同懇談会等で提言しながら今後の方向性を確認し、会員相互の繋がりを実感できる活動にしていきたいと思います。また②に関しては、毎年継続している「まちの保健室」「健康づくりキャンペーン」に出展し、市民への健康、相談活動を通して市民との交流を図りより身近で頼れる看護協会であることをアピールしていきたいと考えています。

筑西・古河地区

地区理事 野口 敬子

「魅力ある地区活動をめざして」

地区活動を充実させる内容に取り組みます。

地区研修については地区内の課題に取り組み特徴を生かした研修ができるよう努力いたします。

また、保健活動においては、地域住民に満足度の高い活動ができるよう、施設間の連携を図りタイムリーな情報の発信に努めます。

～震災復興に祈りをこめて～
第47回いばらき看護の祭典

平成 23 年 7 月 2 日 (土) つくば国際会議場 大ホール
 参加者 1,116 名

3月11日に発生した東日本大震災は、茨城県をはじめ東北関東各地に甚大な被害をもたらしました。今回の祭典は、この未曾有の震災からの復興を祈念して開催されました。

宮本看護専門学校看護学生が震災復興への灯としてキャンドルサービスを行い、厳かな雰囲気看護の祭典が始まりました。開会式で村田昌子茨城県看護協会会長は、茨城県内の看護師の離職率が高いため、家庭と仕事の両立・復帰への取り組みを推進し、看護職が生き生きと働き続けられる職場環境づくりと、「いのちに寄り添える看護」を目指したいとあいさつしました。橋本昌茨城県知事は安心・安全な医療の提供をするべく看護師・医師の確保および資質の向上を実現してほしいと協会への要望を述べられました。

キャンドルサービス



☆練習を重ねてきたので、無事に終わられほっとしました。
 ☆10月の戴帽式に向け、積極的に取り組んでいこうと、強く思いました。

特別講演

自宅で大往生—「ええ人生やった」と言うために
 ～地域で生き、地域で逝く人々を支える医療ケア～
 おおいまち国保名田庄診療所
 所長 中村 伸一 先生

「家で最期を迎えたい」と望む高齢者が多く、家族もまたそれを支えたいと思っている地域で、保健・医療・福祉の連携に力を入れ、患者も医療者も「お互い様」の心を持った相互信頼のもとに支えあうことが大切であるとお話でした。



表彰式

★優良看護職員茨城県知事表彰★

保健師2名、助産師1名、看護師8名の方が表彰されました。
おめでとうございます。



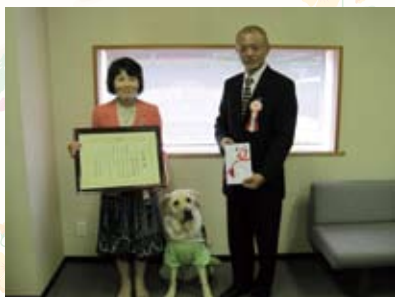
受賞者の声

☆茨城県で生まれ育ち、看護師を続けられることが幸せなことだと感じられました。
☆病棟勤務から訪問看護師となり看護の原点に触れた体感となっています。



お礼のことば

愛の募金贈呈式



贈呈式終了後、公益財団法人日本盲導犬協会様より感謝状をいただきました。

★看護エッセー入賞者表彰★

189作品の中から高校生の部・一般の部各6名が表彰されました。



受賞者の声

☆看護学校の入学が決まっていたころ、高校の先生に勧められ応募しました。入賞できると思っていなかったのでとても嬉しい。看護を目指す人に読んで欲しい。
☆受賞でき光栄に思います。ママさん看護師を目指す学生ですが、学校の仲間や、家族の協力・支えは励みになっています。



ロビーでは各団体による展示のほかに、いばらき応援物産コーナーとして農・海産物の販売も行われた。

参加者の声

♪看護学生になってよかったと思いました。
♪とても有意義なイベントでした。
♪地域の人々に貢献できる看護師になりたいと思いました。
♪母が看護師で、自分も看護師になりたいと思いを連れてきてもらいました。とても楽しかったです。



事務局からのお知らせ



土浦訪問看護ステーション内研修室 完成

定員は100名、県南地区の研修会場として活用していきます。
どうぞよろしくお願ひいたします。



【住所】
土浦市下高津 2-7-68
土浦訪問看護ステーション内
(元国立霞ヶ浦病院附属
看護専門学校)

シンボルマーク決定

平成24年度の新公益法人移行に向けてシンボルマークを制定いたしました。



コンセプト
組織の中の一會員の力と重要性。一人ひとりが組織を作る。
モチーフ
ナースキャップ

事務局紹介

前号に引き続き、今回は**教育研修グループ**をご紹介します。皆さんが受講される研修の企画・準備・問い合わせ等を担当している部署になります。



認定看護管理者教育受講生一人ひとりが受講したことで多くの成果が得られ、かつ受講目的が達成されるよう支援するとともに、教育が円滑に実施できるようにいたします。
セカンドレベル担当 宮本康子



ファーストレベル研修担当の小池です。協会の仕事ははじめてですが、充実した研修を受けられるよう受講生の皆さんをお手伝いしたいです。

研修担当の瀬谷です。来年度予定の専任教員養成講習会開催に向けて準備しています。皆様に充実した講習会を提供出来るよう取り組んでいきます。どうぞ宜しくお願いします。



研修担当事務の相島です。皆様多数の研修参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願いいたします。

研修担当の鈴木です。今年度から勤務させて頂き、主に継続教育を担当しています。円滑な進行ができるように関わっていきたく思います。どうぞよろしくお願い致します。

お忙しい皆様が受ける研修が、気持ち良いもの・稔り多きものとなるようお願い、日々業務をしております。ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。
竹川

本年度から勤務させて頂いています近藤と申します。来年の専任教員養成講習会の開催に向けて準備をしています。どうぞよろしくお願い致します。

研修グループは、看護の質向上を目的に、幅広い分野で計画されている研修の実施に関わっています。看護職のキャリア形成に貢献できるようスタッフ一丸となり役割を果たすよう努めています。
常任理事 青山 千代子

本年度から教育研修チームの一員となりました。主として新人看護職員研修と実習指導者講習会を担当しております。質の高い看護が提供できる人材育成に努めます。
茅根

※次回は、「ナースセンター」をご紹介します。

編集後記



今年度より、広報委員をさせていただくことになりました。今年も猛暑！職場・家庭での節電対策はどうしていますか？昭和の生活が節電のヒントだそうです。節電を工夫して、残暑を乗り切りましょう！會員のみなさまに満足していただける情報の発信をしていきたいと思っております。
広報委員 宮本 佳代子